

《様式③》

( ) 組「御同朋の社会をめざす運動(実践運動)」人権啓発推進僧侶研修会報告書

組名	組 (ヶ寺)		会場		
開催期日	月 日 (曜日)		参加寺院数		
開催時間	時間 分 ( : ~ : )		参加者内訳	男性 ( )名	
研修課題	<input type="checkbox"/>	①み教えと差別の現実について		僧侶 ( )名	女性 ( )名
	<input type="checkbox"/>	②感染症・ハンセン病と差別問題についてみ教えと差別の現実について		その他 ( )名	住職 ( )名
	<input type="checkbox"/>	③過去帳又はこれに類する帳簿の取扱について			衆徒 ( )名
	<input type="checkbox"/>	④教区又は組が独自に設定する人権・差別問題について			男性 ( )名
研修講題				女性 ( )名	
講師(役職)	( )				
研修形式	<input type="checkbox"/> 講義(問題提起)と班別話し合い法座・まとめ <input type="checkbox"/> 講義と全体話し合い(質疑応答含む) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
研修内容について、事前打合せをしましたか？			<input type="checkbox"/> 打合せをした <input type="checkbox"/> 特にしていない		

※□欄にチェックしてください。

研修日程			
時間	日程	時間	日程
:		:	
:		:	
:		:	
:		:	

資料教材	※使用された資料教材があればご記入ください。(教区や組独自で作成したものを含む)

◆開催後3ヶ月を超えて社会部へ交付申請のあった場合は、助成金が交付されませんので、予め、ご了承ください。

◆教区より社会部へ交付申請する手続きの関係上、できる限り1か月以内に教区へご提出ください。

◆研修内容把握のため、提供できる資料教材があれば、添付してください。

(裏面へ)

研修内容の概略（箇条書きでご記入ください。）

研修をふりかえって（研修を受けて感じた、人権・差別に関する意見・感想及び今後の課題・特記事項）

上記の通り報告いたします。

月 日

組 組 長

印